

平成 28 年 1 月 13 日

各 位

会社名	株 式 会 社	原 弘 産
代表者の役職氏名	代表取締役社長	園 田 匡 克 (コード番号 8894 東証第 2 部)
問い合わせ先	専務取締役	西 田 和 人
電話番号		0 8 3 - 2 2 9 - 8 8 9 4

たな卸資産評価損の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が保有するたな卸不動産に計上されている 2 つの物件（以下、「当該 2 物件」という）について、簿価を下回る価格で売却することを決議したことにより、平成 28 年 2 月期第 3 四半期連結累計期間において、たな卸資産評価損を計上することとなりましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損の計上について

(1) 当該 2 物件の売却に至った経緯

当該 2 物件は、介護付有料老人ホームとして、平成 18 年 9 月に連結子会社である株式会社レーベックを取得した際に同時に購入した物件と、当社が平成 18 年 1 月に土地を取得後、企画・開発により平成 19 年 3 月に竣工した物件です。それぞれ株式会社レーベックが運営・管理を行っていましたが、「リーマンショック」による世界的な金融不況に見舞われたこと等から平成 20 年 7 月に当該 2 物件の介護付有料老人ホームの運営・管理権を営業譲渡し、現在は営業譲渡先から家賃収入を得ております。営業譲渡後、会社再建に向けて有利子負債の圧縮を進めていたこともあり、当該 2 物件の売却による資金化を目指しておりましたが、不動産市況の低迷から売却が思うように進まない状況が続いておりました。

このような状況下、当該物件の売却交渉において、直近では最も良い条件が提示されました。簿価を下回る価格での売却のため、たな卸資産評価損 174,385 千円を計上することとなりますが、有利子負債を大幅に圧縮でき、金利負担を軽減できます。また、金融機関への元金弁済や利息の支払いを延滞している状態から正常化に向けた交渉を進めることができる見込みです。これらの理由から、当該 2 物件の家賃収入を得られなくなるものの売却を決定いたしました。

なお、売却代金は金融機関からの借入金の返済に充当しますが、その一部を運転資金として利用することにつき、ご了承いただいております。

(2) 譲渡資産の内容

① 荻窪老人ホーム

所在地：東京都杉並区荻窪 2 丁目 4 番 29 号

② 芦花公園老人ホーム

所在地：東京都世田谷区南烏山 2 丁目 32 番 28 号

(3) 売却価格及び売却先の概要

売却先からの申し入れにより、売却価格及び売却先の公表を控えさせていただきますが、売却価格については、当社の直前連結会計年度（平成27年2月期）における売上高の30%以上となります。なお、売却先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者等について特記すべき事項はありません。

(4) 譲渡の日程

取締役会決議	平成28年1月13日
契約締結	平成28年2月上旬（予定）
物件引渡日	平成28年2月中旬（予定）

2. 今後の見通し

たな卸資産評価損を平成28年2月期第3四半期決算において計上いたしますが、平成28年2月期の連結業績に与える影響につきましては、当該売買における影響を精査した後に、改めて公表いたします。

以上